

その他の食料品製造業における動作の反動無理な動作災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
1	16～17	工場内で高さ50cmの番重から納豆の袋を（300g）1つずつ面台に移動していたとき、腰に痛みが出て、その場で立てなくなった。	47	100～299
1	19～20	工場内廊下に置いてある食材を乗せる台車を取りに旧スープ室から廊下に出て左に曲がった時に足を滑らせ体勢を崩し、右足を痛めた。	44	100～299
1	11～12	冷却室にて、ドーリー（1台約60kg）2台を運搬中、右わき腹に痛みがはしたが、そのまま業務を続けた。2週間位たった時に息苦しくなり、その後、右脇第3肋骨疲労骨折と診断される。	52	300～499
1	14～15	事業所内給食室において、ワゴンのトレイを洗う為に、トレイをシンクの水に浸ける作業をしていたところ、突然腰に激痛が走り、動けなくなってしまった。	46	1～9
1	14～15	原菜室の野菜洗浄機を洗浄後、機械の底面に部品を取り付けようとしたところ、ネジが固く、無理な体勢となり、肋骨が側面にこすれ、骨折してしまった。	62	500～999
1	15～16	配送を終えて、工場へ戻って荷卸しをしていた。荷卸し中に荷物を持った他の人とぶつかった時、右手首をひねってしまった。	51	—
1	16～17	味噌フィルム機と具フィルム機の間を、生産後の機械の拭き掃除中に、機械の上を渡る踏み台から、1段低い踏み台のあるところで、拭き掃除をしながら移動し、一段下がった踏み台から床に足を下ろす際に、床を見ないで降りたため、右膝で音がして違和感を感じ、痛みと腫れで歩行が困難になった。	54	100～299
		加入用の麺が入った番中（約10kg）を無理な姿勢で持ち上げたところ、腰（左		500

1	11~ 12	側)に突然痛みを感じた。動けないほどでもなかったので仕事を続けたが、痛みが増し、ぎっくり腰および筋損傷と診断された。	53	~ 999
1	11~ 12	被災者は当社作業場内に於いて、商品の入ったコンテナを台車の上に積み上げる際に反動をかけて置いたため、背中に痛みが生じた。	67	50~ 99
1	8~9	センター内下処理室にて、計量機を移動しようとした際に、ロックが掛かった状態に気付かず、勢いよく無理に移動しようとした為、右手親指を脱臼してしまった。	48	30~ 49
1	0~1	左手にしびれを感じ、中指にも痛みが出始めたため検査した結果、手根管症候群と中指ばね指と診断された。	61	—
2	10~11	当事業所内において、コンベアーより流れてくる製品が入った発泡スチロール（重さ6kg、縦28cm、横41cm、高さ25cm）をパレットに積む際、左膝を捻って痛めたものである。	42	50~ 99
2	16~17	工場内でキャベツ洗浄機の部品を取り付けようとした時、キャベツ洗浄機の腰より上の高さの水槽に身を乗り出して水槽の奥（奥行120cm位）部分に部品を取り付けようとした際、手に持っていた部品が重かった事と無理な体勢だった為、水槽の縁に乗り出した右脇腹部分に体重がかかり右肋軟骨骨折した。	51	100 ~ 299
2	20~21	加熱の下処理室でしょうゆの箱（10kg）を一気に持ち上げ、中身を樽に移そうとした際に腰に激痛が走り、動けなくなった。	63	300 ~ 499
2	3~4	重さ約20kgの番重を持ち作業した。帰宅後痛みを感じたと本人から連絡があり、後日病院へ行った。	23	300 ~ 499
2	7~8	給食弁当工場内において台車に弁当箱が20個入る「番重箱」約4kg~5kgを10段重ねて台車に載せて配送トラックまで運ぶ途中、水路に網式の鉄板が敷いてありその段差で「番重箱」が傾いたため、両手と身体で倒れないように無理な姿勢で支えた時、背中と腰部に強い痛みがはしった。そのまま配達を優先したが痛みが取れず翌日受診して圧迫骨折が判明したものである。	65	100 ~ 299

3	11~12	漬物原材料である酒かす（20~30kgの容器に入ったもの）を2人で引き取りに行き、酒かすを運搬中に左足で膝部分に激痛がはしり動けなくなった。	36	10~ 29
3	2~3	もやしを選別するステージ上で足を滑らせてしまい、転倒しないように強く足を踏んばった際、右足首付近に痛みが生じた。その後も痛みがひかず、右足の骨に亀裂が入っていることが分かった。	35	50~ 99
3	9~10	ライスセンター内資材倉庫で台車から油缶（約15kg）を降ろしているときに、腰の右側に痛みがはしり身動きができなくなった。	43	100 ~ 299
3	5~6	当社工場内のタマゴの仕込み中、12kgのタマゴが入ったバケツの中身を大きなバケツに移す作業をしている時、6回分でいっぱいになるところ、3回目で腰に痛みが生じ動けなくなった。少し休んでから腰にコルセットを巻いて作業に戻ったが、その後、痛みが治まらなかった。	72	10~ 29
3	12~13	当社調理場に於いて、2年位前より4升炊きの釜を台の上に移動する作業を2人で交替して担当しており、仕事のあと腰が痛くなった。	67	1~9
4	11~ 12	中間コントロール室にて、ソーセージのタレを入れたバット（約5kg）を4段重ねた列から隣の5段重ねた列の上（5段目）に持ち上げようとしたところ、左右の足を捻り大腿部に痛みを感じた。	66	500 ~ 999
4	7~8	工場1階食材準備室内にて茹で卵（既製品）の出荷中、150ヶの茹で卵と保存液で約14kg、入れる番重約2kgと計16kgのものをうっかり2段一度に持ち上げてしまった。その際、重量の負荷が原因と思われる圧迫骨折を負った。通常男性でも2段同時に持つことはなく、本人もこの日初めて不注意で2段一度に持ってしまった。	64	300 ~ 499
4	15~ 16	工場内でコンテナへ荷物の搬入作業中、ハンドリフトを用いて荷物を移動した際、左アキレス腱を断裂した。	57	10~ 29
4	8~9	洗浄機用のプレートラックをシンクに置こうとした際、シンクに置き損ね、シンクにプレートラックがあたり、その反動でバランスを崩し、後ろに転倒し、腰椎圧迫骨折した。	69	1~9

5	16~ 17	径200A・長さ2mの配管を設置するために、一人で移動させようとした時に腰に痛みを感じた。その日の作業の後片付け（足場の撤去）をしている時にさらに強い痛みを感じ、その後も痛みが持続した。	40	30~ 49
5	10~ 11	工場厨房内にて生クリームの入ったステンレスボール（直径40cm、自車+内容物=約9kg）を冷蔵庫の下段（床より20cmの高さの段）に収納した際、しゃがんだ姿勢から立ち上がろうとした時、腰痛症（ぎっくり腰）を発症し、しばらく痛みで動けなかった。	53	10~ 29
5	10~ 11	当社工場3階で味噌仕込みの作業中に、放冷機を移動しようとして3人で機械を動かそうとした時に足に力が入り、何にもぶつけていないのにくるぶしをひねる感じとなり痛みが発生した。	59	1~9
5	10~ 11	当社工場にて野菜の洗浄作業中、右手にザルを持ってシンクの中から野菜をすくい取っていた際、右手親指の付け根に痛みを感じた。痛みがひどくなくなったため様子を見ていたが、腫れがひどくなった。	53	100 ~ 299
5	14~ 15	4P納豆をラインから取り、ケースに入れる作業を行っていて、他の従業員は、その作業とパレット運搬作業を交互に行っている。しかし、そのパレット運搬作業が被災者自身が小柄で、運搬作業を行うのが困難なため連続して4P納豆をラインから取り、ケースに入れる作業を2時間程度行ったため、右肩肩甲骨を損傷した。	50	500 ~ 999
5	15~ 16	給湯室で食器の洗浄作業をしていたところ、皿汚れのこびりつきがあったため、1皿ずつスポンジで洗っては洗浄機へ投入することを高速で繰り返し行ったため、手を酷使したことによる。	53	100 ~ 299
5	17~ 18	玉ねぎの芯抜きを行う際、左手の親指と手首を回しながら玉ねぎを持ち作業を行ったあと、左手首に少し痛みを感じた。翌日も同じ作業を行ったところ、手首は晴れ、紫色に変色し、激痛を感じた。	63	100 ~ 299
5	8~9	派遣先工場内において屋内資材置き場片付け中、畳んだ段ボール10枚を束にしたもの（重さ約5kg）を所定の位置に運んでいたところ、両手で持ったダンボールを置き場に置こうと前かがみになった際、腰に痛みが走った。	44	30~ 49

5	16～ 17	研究棟の階段を降りている際に足を滑らせてバランスを崩し、転倒するのを防ぐため右足で踏ん張った際に負担がかかり、膝関節を骨折し靭帯を損傷した。	43	300 ～ 499
5	21～ 22	流し台にて20ℓプラスチック容器を洗浄する作業で、通常はシンク内に直接置いて洗浄するところ、通常より多い6本の洗浄になり、20ℓの洗浄液が入った容器を床に置いた状態から高さ80cmのシンク内まで持ち上げ、最後の6本目を持ち上げた際に腰にブチッとなり痛みが生じ、その後、体が動かなくなった。	56	10～ 29
6	16～ 17	帰宅する際、階段を下りる時にバランスを崩し、左足をくじいて負傷した。	46	100 ～ 299
6	10～ 11	当工場地下1階調整室で、ひじきご飯入容器（12kg位）を作業台（1m20cm程）の上に載せようと持ち上げた時、肩に痛みがきた。痛み止めと湿布薬で治療を続けたが痛みが取れない為、MRIを受診したところ、右肩腱板断裂と診断され、その後、入院・手術をし退院した。	69	300 ～ 499
6	14～ 15	給食の食器等の載った台車が降りてくる、リフト場へ向かう調理場の出入口外で、台車を引き取ろうと待機していた。台車の到着を示すランプが点灯したので、駆けて取りに行こうと左足を踏み込んだ際に、膝を捻った。	56	1～9
6	9～ 10	自社所有の茶畑で、刈り取った青芽（10～15kg程）を運んでいる際、左足に痛みを感じ、疲労骨折が判明した。茶畑の足元は傾斜地であった。	15	1～9
6	10～ 11	厨房で冷凍庫に食材を収納している時、両手がふさがっている状態で動こうとして足が滑り、転倒しそうになる。転倒は堪えたが、足を捻ってしまい骨折した。	50	10～ 29
6	17～ 18	工場の2階にある作業現場（第4包装）から、次の作業指示を確認する為、別の作業現場（第2包装）へ移動中、階段の1段目を上ったところで長靴のゴム底が擦り減っていた事から足を踏み外してしまった。その際、右手をついた反動により骨折した。	55	100 ～ 299
6	7～8	工場の肉ラインにて、肉をスライサー投入時、折れ曲がっている少し凍った肉の原料を、まっすぐに直そうと力を入れたところ手が滑ってしまい、左手親指を反	22	50～

		対に捻り脱臼を負う。その後、痛みがあったものの腫れもなかったため、数日様子を見ていたが、痛みがなかなかひかなかった。		99
6	9~10	養殖したシイタケをハサミで刈り取る作業をしていたところ、3ヶ月程前から右手首に痛みが出た。大事ではないと思い就業を続けたが、痛みが酷くなった。	34	50~99
6	8~9	当社工場内で豆腐の製造中、豆乳の入った型箱をプレス機のレーンに乗せるため持ち上げようとした時、型箱を載せた台車を足で押してしまい、台車が動いて、少し離れた状態で持ち上げようとしたため、通常作業時より異常な負荷が腰にかかり、腰を痛めてしまった。	26	50~99
6	15~16	弊社製造現場の、原料の異物撤去設備の殺菌処理のために、次亜塩素投入を完了し、3段の階段を下りる際に設備に設置してある水道ホースに足を取られ、避けた際に正常な状態で右足を床面に置くことができず、右足の甲を捻った状態で床面についてしまい負傷した。	54	100~299
7	14~15	工場第1整形室にて機械の入口から出てきた原料肉をひっくり返し、その原料肉を再び同じ機械に入れる作業をしていたときに、機械の入口から離れたところから原料肉を入れようとしたため、体勢を崩して原料肉を持っていた右手首をひねってしまった。後日痛みが増し、右手関節捻挫の診断を受け18日後にMRI検査をした結果、右肩腱板不全損傷で休業見込みを1か月要することがわかった。	37	300~499
7	9~10	冷蔵庫前の床に置いてある、牛乳（900ml×6本）1ケースとソフトクリームミックス（3000ml×3袋）8ケースから右手で取り出して冷蔵庫へ入れる作業をしている時に、突然右肩に痛みが出た。しばらく様子を見ても取れないので病院を受診したところ、腱板炎症との診断。しかし痛みは取れず別の病院で診察したところ右肩腱板断裂と診断された。	51	10~29
7	14~15	野菜処理室で、下処理をするたまねぎの入ったコンテナを作業台にのせる作業を何度か行う中で、腰に負荷がかかり痛めた。普段、重いものは2人で持つよう指導され実践していたが、その日は周りに人が少なかったため、1人で持つ不安全な行為があった。腰に負荷が掛かっている状態で作業を継続したため、バランスを崩し左足を痛めた。	40	100~299
		冷蔵庫内で冷凍鶏肉1箱（12kg）をパレットからカゴに移し替える作業をしてい		50~

7	11~12	たところ鶏肉を持ち上げた際に腰を痛めた。	31	99
7	21~22	定温トッピング室にて製品を番重に入れて積みあげていく作業をしていたところ慣れない作業のため慌ててしまい、腰を痛めてしまった。	46	500 ~ 999
7	9~10	パレット積みされた補材が入荷したので、フォークリフトの爪幅をパレット幅に合わせる作業を実施していた所、腰に痛みが発生した。	30	1000 ~ 9999
7	10~11	工場内で食品加工作業中、ざるに入った食品（重量約15kg）を急に持ち上げたところ、腰に激痛がして動けなくなった。	61	100 ~ 299
7	5~6	食材のハムをカットする作業中、番重に入ったハム（15kg~20kg）を両手でかかえ、作業台の方に移動させた時、右手に痛みを感じ、労務に行き、湿布を貼ってそのまま最後まで作業を続けて帰宅したが、痛みがひどくなってきた。検査の結果、右親指下部（手のひら）の部位が骨折していると診断を受ける。本人に確認したところ、番重をかかえて移動させただけで、何かに手をぶついたりは一切なかったと回答している。	22	500 ~ 999
7	8~9	ベジタブルセンター加工場において野菜くずの入ったコンテナ（重さ15kg）をしゃがんで持ち上げようとした時に腰に激痛があった。痛みが続き、ぎっくり腰でしばらく安静が必要と診断された。	63	50~ 99
7	9~10	大根を入れる段ボールを組み立て中、15cm程の高さのパレット台から右足を踏み外し、足をついた際に足首をひねってしまった。	70	1~9
7	5~6	製造現場に向かうため2階から1階へ下る階段で、床まで2段のところを階段を踏み外して、床面に着地した際に左右両方の足を捻った。躓いたり、滑ったりした様子はなく、足元を確認せずに降りて、階段のない部分に足を踏み出してしまい、そのまま床面に倒れ込んだものである。	47	500 ~ 999
7	10~	1階畜産原料庫にて、牛肉ミンチ材（27.2kg）を開梱して、専用カーゴ車に段積みしているとき、腰に無理な負荷が掛かってしまい、腰を捻り、背骨に痛みが発生	38	500 ~

	11	した。		999
7	12～ 13	デリカ作業場にてフライヤーを清掃する際、油切り用の部品を取り外そうとしたときに、添えた右手小指の腱を断裂した。	45	30～ 49
7	17～ 18	本社工場粉体棟の篩過室にて、フロービンの蓋を外し、踏み台を後ろ向きに降りたとき、バランスを崩しそうになったため、床に下ろした左足に体重をかけ踏ん張ったが捻って、左足ふくらはぎの肉離れを起こした。	44	100 ～ 299
7	11～ 12	調味料室にて、調味料を出す作業をしているとき、15kg入りの味噌が入った容器を台車にのせる作業中、自分の顔の高さまで15kgの味噌を持ち上げた。その際、背中に痛みがあったので体を伸ばしたとき、左脇腹に強い痛みがはした。	45	30～ 49
7	8～9	工場の炊飯室において、冷却後の舍利の積み替え作業のとき、6段目の舍利バツカンを積み上げた際、踏ん張った左足に違和感があった。作業を続けるが痛みが増したため受診したところ、骨折と診断された。	46	300 ～ 499
7	12～ 13	敷地内において、帰宅時に階段を降りていたところ、足を踏み外し、左足を捻挫し、剥離骨折した。	51	500 ～ 999
7	10～ 11	食器の洗浄をしているとき、使用後の食器をつけるための水が入った大きなトレーを持って水を流そうとした際、急に腰が痛くなった。	38	10～ 29
7	10～ 11	コンテナ箱に入った10～20kg位の人参材料を荷台車に積み込み中、1m70cm位の高さに上げたとき、左肩がビリッと痛くなった。その後、塗り薬を塗って様子を見たが、挙上できなくなった。	58	1～9
7	9～ 10	事業所（蔵）の駐車場にて、車から荷物（醤油やみその製品、15kg程度）を降ろすとき、腰に痛みがあり動けなくなった。	33	1～9
9	9～ 10	食品工場1F包装室小麦がセットライン製品搬送ラインで、不良品を発見し梯子（5段）を上り、ステージ上で動いているコンベアから製品（15kg）を、持ち上げた時に、左足に負荷がかかり左ひざを負傷した。	61	100 ～ 299
9	8～9	工場内更衣室で始業準備中、右足を誤って捻ってしまい負傷した。	57	100 ～

				299
9	12~ 13	<p>サラダ室において、ミキサーを使用し、野菜などを混合する作業（ミキシング）がある、番重（コンテナ）を含め、約12kgの具材を胸の高さまで上げ、数種類をミキサーに入れ、混合後は、具材を番重に分けて入れていき（番重含め約17kg）、積み上げていく作業で、9月に入ってから週2回が週5回に増えた。重量特物を持つため、今年4月頃より腕に痛みがあり、ミキシングの作業をする回数が増えたことで悪化、9月下旬には両腕に痛みがあり、指先に力を入れて物を持つことができなくなった。</p>	56	100 ~ 299
9	15~ 16	<p>事務所冷凍庫内での出庫作業中、10kgの荷物を持ち上げた時、腰に痛みを感じ、違和感が出た。</p>	48	30~ 49
9	11~ 12	<p>味噌詰めした製品（1.1kg/本）が入った段ボール（7.3kg/ケース）を運ぶ作業中に、腰に痛みが発生した。</p>	46	300 ~ 499
9	11~ 12	<p>冷蔵庫内でピッチング作業をしている時に、在庫品から製品をパレットに積み付ける作業を続けていると、腰を痛めて作業ができなくなった。</p>	48	100 ~ 299
9	11~ 12	<p>海苔の手詰作業において一緒に封入するための石灰がなくなったため、新しい石灰ケースを開封しようと、箱の片方を持ち上げテープを外す際に腰の痛みが発生した。</p>	49	10~ 29
9	16~ 17	<p>製造二課原料処理室にて急凍庫に両手で原料容器を運搬し入ろうとしたところ、入口の床に氷が張っていることに気付かず右足を滑らせそうになった、その際、左足を踏ん張り足首を痛めてしまった。</p>	48	100 ~ 299
10	14~ 15	<p>検収場で検収後に食材（冷凍食品）のダンボールを持ち上げてしまうときに、腰に痛みを感じた。</p>	23	10~ 29
10	10~ 11	<p>当社工場内において製麺作業中、こねた麺生地をタライに入れて（65kg程）約3m移動（運搬）しようとして中腰の姿勢で力まかせに引っ張ったところ、腰を負傷した。</p>	49	30~ 49

10	14～ 15	空になったエスレンコンテナ（重量約2kg）を5個を一度に抱えて、トラックの荷台から降ろそうと、荷物を持って台車に載せるため体を捻った瞬間に、腰を受傷したらしい。	49	10～ 29
10	12～ 13	パレットの上に30kgの玄米袋を7段積み上げ（高さ1m60cm）積み上げた一番上の袋を開ける為に袋を手前に引いた際、左手首を捻り負傷する。	32	30～ 49
10	23～ 24	釜で煮物を煮ている間に次の準備をしようと、野菜のカゴをのせている台車を移動させた。その際台車の動きが悪く力まかせに動かしたため、台車に勢いがつき、IH調理機前にあるハカリを置いている台に右手を強くぶつけた。	44	100～ 299
10	12～ 13	被災者は、明太子製造作業中、他の作業者と一緒に原料の入ったカゴ（縦450mm、横650mm、重さ約24kg）を向かい合わせで持ち上げようとしていた。他の作業者が先にカゴを持ち上げたため、被災者が慌てて持ち上げようとしたところ、バランスを崩してカゴを落としそうになり、持ち直そうと踏ん張った際に腰と左足くるぶし付近を痛めた。	51	30～ 49
10	6～7	シェルマシンの機械の下部にて掃除をしようとして段になっている所を降りた際、体を捻りそのとき右腕に無理がかかり右肩を脱臼したもの。	44	10～ 29
10	15～ 16	作業現場でサンテナを3つ重ねて台車で運んでいるときにサンテナが崩れ落ちそうになり、支えようとしたときに足を捻った。	49	100～ 299
10	9～ 10	完成した商品を冷凍するために、キャリーケースから冷凍機の上部へ運び上げた時に背中に激痛が走り動けなくなった。病院の診断は、胸椎圧迫骨折のため、3週間の入院。その後も通院が必要のため、約1ヶ月の休業見込み。持ち上げた商品トレーの重さは6kg強であった。	68	50～ 99
10	11～ 12	包装室、冷蔵保管庫内でチルド商品（1ケース16kgの物が5段）をキャリーに乗せ、男性社員と二人で保管用パレットに1ケースずつ荷物を持ち、乗せ換えようとしていた際、腰を痛めた。	63	100～ 299
11	0～1	野菜処理室内で大根カットの作業中に突然意識がなくなり、そのまま後ろに倒れた。	47	100～

				299
11	18~ 19	ゴミ捨て場で、ゴミの肉を入れた袋（縦100cm×横90cm×高さ100cm、重さ15kg）を持ち上げた際、右膝に力が入り過ぎて外傷後膝関節症を発症した。	28	100 ~ 299
11	14~ 15	工場配合室2階で配合原料を粉碎する為、粉碎機に投入する移動式昇降機を移動したところ、足元がふらついてそれを支えようとして腰を負傷した。	61	30~ 49
11	12~ 13	被災職員は、調理業務に従事しており、被災当日も勤務場所である小学校の給食室において、温食を杓子を使い、学級用の温食器に移そうと、温食を入れた杓子を右から左に動かしたところ、突然腰に激痛を感じ負傷したものである。	55	1~9
12	11~12	出来上がった棒寿司をプレートに20本並べ（重さ約7~8kg）、それを16枚収納できるボックスに入れる作業を行っていたときに、腰痛で辛くなったが我慢して作業を続けた。そのうち腰痛で支えきれなくなり、同僚に交代してもらった。	62	100 ~ 299
12	14~15	本社工場1階の流し場にて、流し場側面の油汚れを原液洗剤を使用してスポンジで擦っていたところ、手が滑り、右手首に痛みがはしった。当初はうずくまる程の痛みではなく、痛みが出てから直ぐに治るであろうという認識で、負荷を軽減しながら作業を続けてきたが、数日経っても痛みが治らなかった。	38	300 ~ 499

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to：https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html